

竹 中 大 工 道 具 館 NEWS

未 来 へ つ な ぐ 、 匠 の 技 と 心

Takenaka Carpentry Tools Museum News Letter

Vol. 29

2013 | Summer-Autumn



出張授業「千年の釘にいどむ」の様子（和釘と洋釘を見比べる）

子供たちに託す千年のメッセージ

神戸市の小学5年生が使う国語の教科書には、鍛冶職人の白鷹幸伯氏が古代の和釘を再現する過程を描いた「千年の釘にいどむ」という文章が載せられています。当館では、それにもとづいて一昨年から国語科の出張授業を行っています。文章ではわかりにくい釘や鉄の性質も、白鷹氏がつくった和釘を手にとってみることで、実感として伝わっていきます。千年前の職人の仕事に向き合い、千年後の職人に語りかける現代の職人の心意気は、ものづくりと縁遠くなった現代の子供たちの心にも十分に響くようです。それは、白鷹氏がつくった釘を千年後まで大事に守り伝えていくための、小さくとも大切な一歩といえるでしょう。

CONTENTS

- EXHIBITION 「鉋鍛冶 一碓氷健吾の仕事」展
- EVENT 夏休み子ども体験教室
「技と心」講演会
- SEMINAR 「技と心」セミナーのご案内

EXHIBITION

平成25年度企画展

鉋鍛冶－碓氷健吾の仕事－

Master of Plane Blacksmith “Kengo Usui”

2013年8月6日(火)～9月29日(日)

竹中大工道具館 特設会場

開館時間 9:30～16:30(入館は16:00まで)

休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)

主催 公益財団法人 竹中大工道具館

公式サイト <http://dougukan.jp/usui/>

よい仕事のためにはよい道具が必要です。では、「よい道具」とは何なのでしょう。大工の厳しい要求に応えた鍛冶の技は一般にあまり知られていません。

新潟県^{よいた}と板に碓氷健吾という鍛冶がいました。鉋づくりに人生を捧げた職人です。経験と感覚に頼ることが多い職人技を科学的に解析した功績は多くの後進の範となりました。本展では、「鉋」という道具がどのようにつくられるのか、碓氷健吾の鍛冶人生を通してご覧いただきます。

Ⅰ展示内容

◎ 碓氷健吾の生涯

鉋鍛冶碓氷健吾が鉋にかけた人生とは。夫婦鉋で知られるように妻と二人で歩み、多くの先達から熱心に学び、惜しみなく後に託す。そのような碓氷氏の人柄を作品や映像とともに辿ります。

◎ 鉋鍛冶の仕事場

どのようにして鉋はつくられるのか。碓氷氏の鉋製造工程を、実際に使っていた鍛冶道具や工程見本を用いて再現します。碓氷氏が開発に携わった新素材の鋼やさまざまな科学分析手法に触れることで、氏が目指した「よい鉋」を考えます。



写真提供：削ろう会



鋼の種類

碓氷氏製作の鋼材見本。玉鋼や東郷鋼から、日立金属と共同開発した青紙スーパーY鋼に至る、氏がこだわった数々の鋼。地金の切断サンプルなど、鍛冶屋の視点でご覧いただきます。



鍛冶場再現展示

碓氷氏が実際に使用していた鍛冶道具を使い、会場内に火床まわりを再現します。

写真提供：削ろう会

EVENT

鉋鍛冶展 記念イベント

記念セミナー

「碓氷健吾氏から受け継いだ伝統の技と心」

講師 船津祐司（舟弘刃物製作所）

※4頁「技と心」セミナー欄をご参照下さい。

体験教室 「切出し小刀をつくろう！」

鉋鍛冶の作業工程を切出し小刀の製作を通して体験します。全3回の連続企画として、火づくり、成形、熱処理を行い、実際に使える小刀を製作します。

講師 内橋圭介（圭三郎鉋打刃物製作所）

日時 ①8月11日（日）②8月25日（日）③9月8日（日）
※いずれも午前9:30～11:30、午後13:30～15:30の2部制

参加費 無料

内容 ①鍛接・荒のぼし・焼なまし
②成形（ヤスリかけ・センがけ・ならし）
③焼入れ・焼もどし・刃研ぎ
※①③の工程は火気を使用します。

場所 当館屋外 特設会場

定員 午前・午後ともに各5名

参加条件 中学生以上で3回すべてにご参加いただける方
自己責任でのご参加をご了解いただける方
※中学生は保護者同伴でご参加下さい。

申込締切 7月21日（日）消印有効

備考 午前・午後の振分けは当館にお任せいただきます。
上記体験教室は見学も可能です。
①③申込制 各回10名 ②申込不要

夏休み子ども体験教室

プロの大工さんと一緒に
イスづくりに挑戦しよう！

日時 7月27日（土）
13:30～16:00

参加費 無料（保護者のみ要入館料）

工作内容 イス

場所 当館地階 多目的ホール

参加対象 小学4年生～中学3年生

※小学生の方は保護者同伴でご参加ください。

定員 15名

申込締切 7月13日（土）消印有効



【鉋鍛冶展体験教室・夏休み子ども体験教室 申込み方法】

ホームページ

当館ホームページよりお申し込みください。
・夏休み子ども体験教室：「体験教室」のページ
・鉋鍛冶展体験教室：鉋鍛冶展公式サイト内のイベントページ

往復はがき

下記の内容をご記入のうえ、お申し込みください。
※夏休み子ども体験は、お客様の名前でお申し込みください。

【往 信】

（⑤⑥は鉋鍛冶展体験教室のみ）
①氏名（フリガナ）②生年月日 ③郵便番号・住所
④電話番号 ⑤性別 ⑥体験 or 見学（見学の方は日程と午前 or 午後を明記）

【返 信】

宛先に氏名・郵便番号・住所をご記入ください。
返信用裏面は無記入のこと。

【申込み先】

〒650-0004 神戸市中央区中山手通4-18-25
竹中大道具館
「鉋鍛冶展イベント」係（鉋鍛冶展体験教室）
同「夏休み子ども体験教室」係（夏休み子ども体験教室）
※1通につき1名様まで（保護者は除く）。
※応募者多数の場合は抽選となります。
※参加の可否・詳細は締切日以降に通知いたします。
※ご記入いただいた情報は厳重に管理し、当該イベント以外の目的には使用いたしません。

「技と心」講演会

「手道具の意味 ～人技を超えたものづくり」

3ミクロンにせまる仕事で家づくりに情熱を燃やす大工。頑なに手の感覚にこだわり、正確無比な精度で鋼を鍛える鍛冶。三代にわたって歴代名工と交流してきた刃物店主人。電動工具全盛の今、それでも手道具でなくてはならない意味とは。道具づくりを知りつくした3人の匠をお招きし、ものづくりの心について語っていただきます。

日時 11月3日（日）14:00～16:30

場所 ラッセホール大会場
（当館より徒歩1分）

講師 阿保昭則（大工 耕木杜代表）
目次伯光（鍛冶職人）
土田 昇（土田刃物店 店主）

入場料 無料

定員 先着250人（申込不要）



【講師プロフィール】

阿保昭則氏

1956年青森県生まれ。中学卒業と同時に大工修行に入る。外見だけではない質の高さを追求し、2000年1月耕木杜を設立。3ミクロンの薄削りを可能とする技術も強靱な継手を生み出すためのひとつの技にすぎない。自然素材を如何に活かすか。道具の本質を知る大工。

目次伯光氏

1968年東京生まれ。小学生の頃から大工道具に興味を持ち、中学で鉋を使う。大学生の頃に出会った土田一郎氏（土田刃物店二代目）の話に感銘を受け、26歳の時に中学技術家庭科教員の職を辞して鍛冶の道に入る。手作業での精度を追求する独学の求道者として知られる。

土田昇氏

1962年東京生まれ。東京都三軒茶屋の大工道具店、土田刃物店三代目店主。千代鶴是秀をはじめとする数多の名工との交流を今に受け継ぎ、自らも鍛冶仕事に精通する。名品を研ぎと目立てを通して知る技術者であり、先代共々大工道具に関する著作も多い。

SEMINAR

「技と心」セミナーのご案内

大工道具と建築技術の専門家ならびに当館スタッフが最新の研究成果や知見をご紹介しますセミナーのご案内です。

参加費 無料（入館料は別途必要）

開催時間 13:30～15:00（13:00開場）

会場 竹中大工道具館

※セミナー[61]のみひょうご共済会館（予定）

セミナー参加申込み方法

ホームページから申込み

当館HP（<http://dougukan.jp>）セミナーページの申込みフォームをご利用ください。

▷お申込み人数は、ご本人ならびに同伴者1名に限らせていただきます。

▷携帯メールアドレスはご使用になれません。

往復ハガキで申込み

【往信用表面】

①セミナー番号 ②お名前（フリガナ）参加者全員分

③郵便番号・住所 ④電話番号

【返信用表面】

・宛先にご自身の郵便番号・住所・氏名をご記入ください。

・裏面は未記入のこと。

【お申込み先】

〒650-0004

神戸市中央区中山手通4-18-25

竹中大工道具館「技と心」セミナー係

▷往復ハガキ1枚につき4名までお申込みいただけます。

※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

※受講案内ハガキ・メールは、締切日以降に発送いたします。

※締切日以降は電話にてお問い合わせください。

[61] 2013年9月22日（日）（締切り2013年9月7日）

碓氷健吾氏から受け継いだ伝統の技と心

講師：船津 祐司（舟弘刃物製作所）

「よい鉋づくり」に生涯を捧げた鉋鍛冶 碓氷健吾氏の技を受け継いだ船津氏。科学分析を採り入れた鋼鍛錬の技術、師弟で全国を旅して得た人との出会い等を中心にお話いただきます。

※講演後、碓氷氏から受け継いだ鋼で船津氏が鍛えた鉋での削り体験を予定しています。

[62] 2013年11月16日（土）（締切り2013年11月1日）

韓国の木でつくる建物

講師：崔 ゴウン（当館研究員）

お隣の国 韓国も日本と同じく古くから木を組み立てて建物をつくってきました。しかし韓国の宮殿や寺院の建物から受ける印象は、日本とはだいぶ異なります。それはなぜでしょうか。その要因の一つは彩色ですが、もう一つ大きな要因として木構造の違いが挙げられます。今回のセミナーでは寺院建築を中心に、写真や図面を交えて、日本と韓国の木構造の違いについて解説します。

[63] 2014年1月25日（土）（締切り2014年1月10日）

中国古塔の世界

講師：添野 建一（元竹中工務店）

日本で見られる三重塔・五重塔のルーツは中国にあると言われていますが、現在中国には日本と同じ形式の塔は一つも残ってはいません。またシルクロードを通じて中国に仏塔が伝わった時の形式はストゥーパ（覆鉢塔）でした。なぜ中国でストゥーパから五重塔のルーツに変化したのか、現地調査の写真を交えながら、その変化のプロセスを紹介します。

ACCESS 来館のご案内

開館時間 9:30～16:30（入場は16:00まで）

休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）
年末年始（12月26日～1月7日）

入館料

	個人	団体
一般	300円	250円
大・高生	200円	150円
小・中生	100円	50円
障がい者手帳をお持ちの方 及び付添者1名	無料	
65歳以上の方	100円	

※団体は20名以上 ※その他各種割引あり

交通案内

▷JR・阪急・阪神「三宮駅」徒歩18分

▷JR・阪神「元町駅」徒歩10分

▷地下鉄「県庁前駅」徒歩5分

▷新幹線「新神戸駅」タクシー10分

駐車場4台（普通車）あります。

連絡先

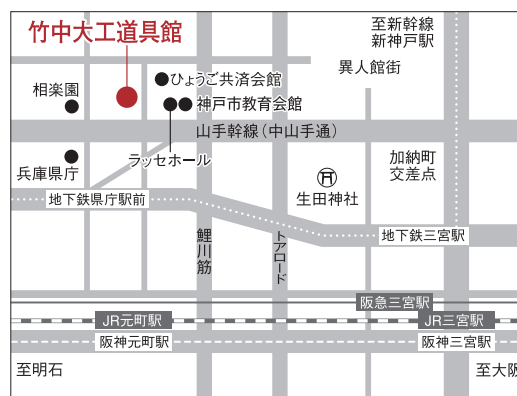
〒650-0004

神戸市中央区中山手通4-18-25

TEL 078-242-0216

FAX 078-241-4713

URL <http://dougukan.jp>



※企画展・イベントなどの日程は変更になることがあります。最新情報は当館ホームページにてご確認ください。※本誌のお届け先の変更・追加および送付停止については電話・FAX・メールにてお知らせ下さい。

本誌の無断転写・転載・複製は禁じます。©2013 Takenaka Carpentry Tools Museum

竹中大工道具館NEWS第29号

2013年7月1日発行

編集・発行：公益財団法人竹中大工道具館

印刷：神戸新聞総合印刷

TAKENAKA
CARPENTRY
TOOLS
MUSEUM

